

## 国立スポーツ科学センター（JISS） オプトアウトにより実施する研究

研究課題名	車いすアスリートの脳振盪による眼球運動障害に対する定量的評価方法の確立
倫理審査委員会承認番号	2022-033-2
研究開始日	2024年5月30日
研究終了日	2027年3月31日
研究目的	本研究では、車いすアスリートのアイトラッキングのデータのベースラインを構築し、アイトラッキングが車いすアスリートの脳振盪による眼球運動障害の定量的評価として有効であるかを明らかにすることを目的としています。これは、車いすアスリートのための新たな脳振盪の評価ツールの確立につながり、脳振盪の評価方法が未発達なパラスポーツにおいて大きな発展につながることを期待されます。
研究対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下肢・体幹に何らかの障害を有し、HPSCを利用する車いすアスリートおよび、地域のクラブチーム等に所属し日常的に運動習慣のある車いすアスリート</li> <li>・対照群（健常アスリート）</li> </ul>
研究概要	<p>初回の測定から半年ごとに計3回測定を実施します。ただし、研究協力期間中に脳振盪が発生した場合には、脳振盪発生から1ヶ月ごとに脳振盪発生前の測定値に戻るまで追跡調査を実施します。測定内容は以下の通りです。</p> <p>①Sport Concussion Assessment Tool 5 (Scat 5) : 以下の項目を評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・症状の評価・認知機能の検査（見当識、即時記憶、集中力）</li> <li>・神経学的評価（指鼻試験、バランステスト）</li> <li>・遅延再生</li> </ul> <p>②Vestibular/Ocular-Motor Screening (VOMS) : 測定開始前と、各眼球運動課題の測定後に、頭痛、めまい、吐き気、ぼーっとするからなる4つの症状のレベルについて0～10の11段階で回答します。眼球運動課題において、アイトラッカー（竹井機器工業製）を使用します。</p> <p>③眼球運動に関する追加課題： アイトラッカーを使用し、視線動揺を計測します。課題動作は、円や四角形、三角形など特定の形状を目で追っていただきます。</p>
研究に用いる情報の種類	年齢、性別、競技種目、脳振盪の既往歴、病歴・Scat 5、VOMSによる測定結果、原疾患に関する情報（障がい種別とその要因）
情報の提供先	新潟医療福祉大学、青森県立保健大学、広島大学
研究の資金源 研究に係る利益相反及び 個人の収益	本研究の資金源は、科学研究費助成事業（科研費）です。
研究責任者	笹代純平/スポーツ科学研究部門
研究分担者	中嶋耕平/スポーツ医学研究部門、半谷美夏/スポーツ医学研究部門、友利杏奈/スポーツ医学研究部門、福嶋一剛/スポーツ医学研究部門、高橋佐江子/スポーツ医学研究部門、久々知修平/スポーツ医学研究部門、深見和矢/スポーツ医学研究部門、清水怜有/スポーツ医学研究部門、大伴茉奈/桐蔭横浜大学、小宮諒/新潟医療福祉大学、篠原博/青森県立保健大学、浦辺幸夫/広島大学、前田慶明/広島大学、田村佑樹/広島大学
問合せ先	<p>笹代純平・スポーツ科学研究部門</p> <p>電話：03-5963-0213</p> <p>E-mail：jumpei.sasadai@jpnssport.go.jp</p>